

風俗文選

解説

四

5
5700
4

5
6
7
8
9
20
1
2
3
4
5
6
7
8
9
30
1
2
3
4
5
6
7
8
9
40
1
2
3
4

門 八 6
號 5700
卷 4



Large stylized black characters, likely a title or name, written in a bold, blocky font.

Red vertical inscription: 陸侯氏曰菴書

卷三

57278

叢虫説

素堂

柴賣説

允兆

閉關説

芭蕉

師説

許六

名阿段説

許六

出女説

木導

雜説

不知作者

愛糶説

万子

卍字藤説

朱旭

草芥説

露川

山芋説

吾仲

嘲霄惑説

毛純

風俗文選卷之四

五老井

許六選

説類

叢虫説

素堂

○みぢいしし。夢のおぼいりなまをあら神物ちりしと
 なく。孝よけりる。とれういにゆく。鬼の子なりしん。
 清女がひまひさう形。やう。鬼たりしと。報復を定と。
 て衆あつ。ゆきむ。乃衆なりしん。
 この法。夢乃おぼいりなきて。かじを能あるをあら
 ぬ。松まら。夢乃あか。る。ぬよ。筆中。は。花野を。な。ふ。衆
 みる。縁を。吐。よ。わ。から。う。ど。て。賤。の。子。は。死。と。
 兄のむし。さ。融。り。て。解。なる。を。あり。種。へ。胡。蝶。を。

花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 たしと。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 この世に。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 まい。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 か。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 そ。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 別。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 ひ。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 一。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 み。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。



から。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 う。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 も。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 一。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 て。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 感。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。
 骸。花よふしうらな。蜂と蜜をふいたまひよら。花よふしうらな。

又以男文字述古風

- 簑虫シロ
- 寸心共空シ
- 白露其口シ
- 似寄居状テカウナノカキ
- 青苔粧躬アヲカサ
- 從容侵雨シヨウヨウ
- 一絲欲絶ヒトイト
- 無蜘蛛工ムシコ
- 一落入摠中ヒトツク

飄然乘風

天許作隱

誰識其終

拙鶴莫咏

我憐称翁

家童禁葦
脱蓑衣去

柴賣説

凡兆

○此は賣柴家より訪り小野細河へ行くまゝに庭をあれは青
小鳥を花を梅を柳をわらわらわらわらと涼し業をたかき
折之くといつてさあめりあるまゝにさうなせんかの春
乃毛女が愛する似ど。河陽の焦子が仁もあつて唯世
まろいびがめして女をたよわくつれと愛するまゝ山に入
くつれを推す。既に小野も思ふも思ふ。そと流しは

まこと白く。さびくまは建礼門院乃女房。阿波乃典侍の局
たどいふ人の名跡ある。やあゆまひくち。とに香あひ
衫とけくろひ袴して二布をあひり。白きもあひい。
志海もけくろひ。白きもあひり。白きもあひり。白きもあひり。
いずいさ。幾男のん。あゆまひくち。とに香あひ
あ。あゆまひくち。とに香あひ。とに香あひ。とに香あひ。
た乃けくろひ。白きもあひり。白きもあひり。白きもあひり。
業もたたく。あゆまひくち。とに香あひ。とに香あひ。とに香あひ。
あゆまひくち。とに香あひ。とに香あひ。とに香あひ。とに香あひ。
或はお訪して門をたたく。あゆまひくち。とに香あひ。とに香あひ。とに香あひ。
志海へくち。あゆまひくち。とに香あひ。とに香あひ。とに香あひ。

の徳のた也。是を以て世に示す事あり。今言
此魔界の心を怒り。溝途はたはまきく。生るるありあり
言と。南華老仙の唯利害を彼物。一老若を以
まへ。閑はあつじく。老の靈はあつじく。人言はあつじく
乃亦あり。出く。他のや。業をさす。く。れ。も。し。
さ。致。つ。を。用。て。杜。め。る。門。を。強。さ。し。よ。の。友。を。ま。か。
な。と。一。貪。を。富。つ。と。て。あ。つ。じ。く。強。頑。夫。自。其。の。心。
の。一。禁。戒。と。し。ん。

師の説

師説

一、人言、たはまきく。必師あり。師之道とは、
惑を解く。あつじく。と。神。と。も。ろ。く。一。も。も。の。心。を。
さ。し。て。一。つ。し。と。ま。り。て。吾。の。心。を。世。に。示。す。と。し。師。
と。ま。し。く。信。者。神。の。乃。さ。く。心。か。り。一。何。も。唯。つ。乃。師。
ありて。道。を。考。る。る。退。き。が。つ。ひ。も。か。つ。し。と。強。さ。を。い。ら。
り。つ。わ。の。あ。つ。じ。と。し。つ。ま。る。と。神。の。心。を。目。こ。ひ。と。し。
ら。一。佛。法。を。見。し。よ。さ。く。む。し。め。て。和。玉。の。心。信。を。ま。か。
果。を。つ。く。と。し。つ。ま。る。の。も。あ。つ。じ。と。し。心。を。む。し。
ら。一。心。の。棚。も。た。は。ま。つ。ま。り。と。し。つ。ま。る。と。し。心。を。む。し。

かくしつへいふのいふべし。

名阿段説

許六

○名阿のト、あをつまて、文字の得と名一なるを社
を新づる名と、いふは終ど。通字ありて、己乃己
とも、いふは、一も終ど、たつても事、いふまじくや。
名阿のあは世なり。一也もあるなり。さ終の味、阿
も、いふは、もせは、阿桶は、阿を、いふは、阿を、いふは、
ありて、いふは、阿、いふは、もや。さるをも、今乃人、名を
天、阿、いふは、も、いふは、阿、いふは、も、いふは、阿、
も、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、

乃、いふは、も、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
鉄、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
名、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
定、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
揚、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、
阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、いふは、阿、

名阿段

許六

名阿段

許六

出女説

木導

(傾城傾城。唐人乃つまきたる名にして。白牡丹。乃
 乃女々。家お乃やうきなるべし。首下り。不類あ
 ずい。い。よ。い。由なるん。あし。乃名内。當世の洒落
 柄。干。白。人。中。美。乃。を。く。ひ。た。び。の。下。種。し。わ。わ。く。
 位階の。こ。下。い。令。張。の。お。あ。なる。べし。ぞ。い。と。が。く。も
 して。神。機。よ。ゆる。さ。神。昔。人。の。か。つ。つ。よ。は。は。り。ゆ
 和。少。子。細。る。て。お。ほ。く。い。あ。る。こ。小。あ。ま。り。夜。も。道。人
 が。い。お。遊。君。あ。た。て。流。人。乃。魂。と。さ。う。い。ん。さ。い。ひ。強
 ち。ん。く。い。し。て。し。し。程。の。ま。も。た。し。ぞ。ぞ。お。お。い。

酒乃。こ。こ。は。進。退。の。や。ま。れ。り。つ。つ。よ。和。光。同。塵。乃
 姿。を。あ。う。り。い。意。悲。才。一。乃。が。女。と。い。ふ。た。ら。わ。わ。信。半
 流。の。あ。わ。さ。ま。と。さ。る。ふ。地。を。さ。う。い。は。旅。お。乃。言。と。さ。く
 さ。た。せ。ら。つ。花。の。ま。り。い。も。あ。る。で。江。湖。の。旅。乃。独
 信。と。あ。さ。む。い。し。ん。あ。る。ハ。船。立。乃。旅。人。と。送。つ。打。美
 姿。と。わ。き。持。く。い。幕。と。飛。し。都。中。の。か。い。い。ひ
 き。て。下。り。や。ん。お。い。つ。身。再。寐。の。あ。れ。さ。め。時。を。膝。の
 床。を。相。着。と。む。り。い。ま。是。舟。の。淺。水。乃。す。り。た。り。り
 通。つ。乃。さ。よ。え。な。さ。か。い。ん。や。う。く。い。乃。日。ぶ。し。と。神
 や。り。お。か。や。く。い。え。せ。乃。い。面。よ。度。と。志。め。泊。り。他。り。ん。え
 面。肌。ぬ。さ。乃。大。き。い。首。飾。の。あ。う。り。わ。わ。燕。は。舞。あ。わ

ち系氣し。目さし。心比せ。國礼の注。代
 こをて。あ。き。豊。海。系。際。の。事。む。び。さ。げ。見。賢
 の。下。れ。ま。い。者。あ。ら。う。門。の。柱。ま。う。ち。海。を。ら。う。か。ま。こ。つ。
 世の勢ひなるべし。い。つ。なる。人。や。い。つ。て。い。つ。も。わ。れ。は。合
 ま。ら。ん。も。志。ら。ば。と。乾。也。一。ま。え。や。う。神。侍。る。あ。ら。う。ま。ま。ま
 ま。ま。き。堅。力。の。こ。ま。た。ぶ。ら。ま。ら。同。心。の。契。の。ぬ。い。つ。け
 り。神。女。乃。手。拍。子。の。舞。の。舞。を。上。と。思。ま。し
 を。こ。え。入。油。火。か。よ。ま。と。る。指。を。ど。の。は。ぶ。わ。ぬ。ま
 なるべし。青。夫。の。海。に。子。履。を。り。づ。る。急。用。の。赤。脚
 て。飛。脚。油。思。味。乃。金。盛。も。じ。う。ま。た。も。果。担。女。懸。子。か
 う。ま。と。ん。ま。ま。九。沙。は。も。た。し。と。あ。ら。う。の。楓。樹。え

月影を海に。乃。吟。も。げ。君。の。あ。い。ぬ。い。み。と。れ。べ。し
 形。治。も。名。か。さ。ぬ。君。も。た。く。ま。と。て。今。い。ま。も。う。不。い。の
 かな。ぬ。伊。勢。路。乃。彩。色。の。あ。ら。め。が。ら。う。大。津。若。は
 ら。さ。う。う。い。は。い。べ。し。名。指。乃。ま。ま。づ。ら。う。比。づ。け。と
 かく。よ。う。と。果。と。く。鼻。乃。下。の。燦。光。も。ま。ま。と。く。水。綿。不
 乃。小。車。れ。も。も。ま。ま。い。く。ま。ま。て。あ。内。衣。の。火。氣。も。ま
 袋。さ。と。と。ま。も。信。し。り。田。舎。の。法。衣。も。ま。ま。い。く。ま。ま。の。ま
 物。も。ま。ま。い。く。神。と。あ。ら。神。を。ら。う。ま。ま。い。く。ま。ま。の。ま
 夜。交。交。り。ま。ま。い。く。お。を。道。も。ま。ま。の。び。や。う。ま。ま。の。ま
 床。乃。小。腰。も。あ。ま。て。神。乃。瑞。籠。も。ま。ま。の。ま。ま。の。ま
 大。殿。も。あ。ま。て。夜。乃。松。も。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の。ま

と定め。給分の加増へ赤はかきをこぎ候。お咎終つてあま
 を。古途もやうふたれをこぎ。けりの新来何れなるん
 青ハ普賢はふりものなりを赤先例もあまき。今
 々すう。此遠ひありて。果ハ龍昇乃妻あまこわ
 瘦子あまの老物同端乃るも懸く。せ。涯と終る。
 赤赤とも見えぬ。結分の地獄まていあまきと。
 お女乃地獄の沙汰とまきん。どまの方地獄の門く。
 ぞも。又あり終るべし。

雑説

不知作者

○人物會歎ハ、その人物會歎の終りなるあり。作
 山川をまは。その山川をまはのま終るるふよそのあは。
 物咎をまは。そのあ乃終るるふよ。その終果るも、え
 たるるりなるべし。響はまのむ。傷も。仲尾の
 仁義よそのあ。そのあ。富はよそのあ。神ハ仙ハ靈雲ハ
 例も。仰黄叔齊を賞よそのあ。楠は成ら忠も傷る。
 火とあつさ。また少終。あひや。なるふ。なる。砂粒
 ちあま。そのあ。野老のあ。長ハあ。は
 るあ。短も。そのあ。傷る。そのあ。瘡を。怒ふる人
 々。痒をか。ふよ。あ。み。貧を。む。び。た。
 盜賊の終るる。そのあ。是。盗。人情の詠く

予、さうく、かゝる、事、ある、べし、と、言、ふ、は、凡、雅、の、傷、
中、人、お、は、よ、中、の、所、に、お、は、い、る、傷、ま、家、祇、の、傳、説、の、
多、少、の、先、師、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
終、る、を、門、下、の、中、に、お、は、い、る、中、に、お、は、い、る、
或、乃、松、内、の、身、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、
こ、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
流、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
乃、用、ら、れ、日、試、さ、る、と、其、角、を、他、の、言、を、
信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
祇、説、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
傷、ま、千、般、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、

通、説、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
仁、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
梅、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
芭、蕉、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
あ、る、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、
か、の、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、

愛梅説

全篇説梅、而、無、梅、字、
終、句、以、一、梅、字、結、之、

○屏原楚辞、
乃、お、は、い、る、言、を、信、ず、る、人、も、多、く、被、て、中、に、

述べ終つて呼んで。なつ功もするは味も次也。秦楚よ
 ら王延といひ。鄭越よ土藉と号も。社務囊中の法を
 こころに伝。陳尚亦ハ延の賊也。鐘山の藁積ハ二
 目放るまじと色と変せむ。家ハこころの事ハ。糸を引
 り藕乃とて。四角子束をせむ。初めハ子を結ぶ
 ぬるごころに結て在禪豆入り結。いもづ子らんふ結
 とみく。教園ハ領る。そむ社の麻酒ハ。海眉山の
 平とすゆ。卯月の麦飯。まやみれ岩乃とて。な
 つやむ。世ハ。學業とて。いもやさる結。いも。若狭の島。ま
 が。まら。い。い。人。参。よ。く。人。を。活。し。よ。く。人。を。殺。す。類
 が。結。ば。よ。く。檜。欄。も。身。体。を。極。め。せ。よ。く。を。勢。い。と。り。と

さきさきさきさきさきさきさき

嘲雷感説

毛純

一、海乃書のあるを去るぬ人ハ。入趣とこの。も。言。虎。の
 まる人ハ。鹿。様。の。虫。を。す。く。凡。雅。の。う。川。を。う。す。と。ま。る。お
 遠。い。な。り。か。の。人。生。れ。打。と。ん。ば。眠。堂。よ。か。き。こ。り。の。麻
 は。り。を。樂。乃。之。上。と。す。る。麻。酒。さ。や。る。あ。な。ま。く。ひ。つ
 と。れ。絲。が。い。ま。じ。も。夜。の。ぬ。る。さ。り。ま。い。ま。く。凡。普。羅。の
 拘。摩。月。も。仕。あ。よ。大。ま。を。領。ド。活。め。む。と。あ。り。ハ。言。下。よ
 活。も。又。も。分。持。の。流。人。を。か。り。て。ハ。漢。海。の。集。よ。り。こ。こ
 中。藪。頭。陀。も。ん。を。変。し。て。ハ。松。崎。家。溜。も。分。と。い。は

一
 されば、縋はちる色よんを、
 心比せし神て、やぐく、
 て、青の海を、
 の、
 傷を、
 凡の、
 家、
 と、
 む、
 上、
 や、

解
 解

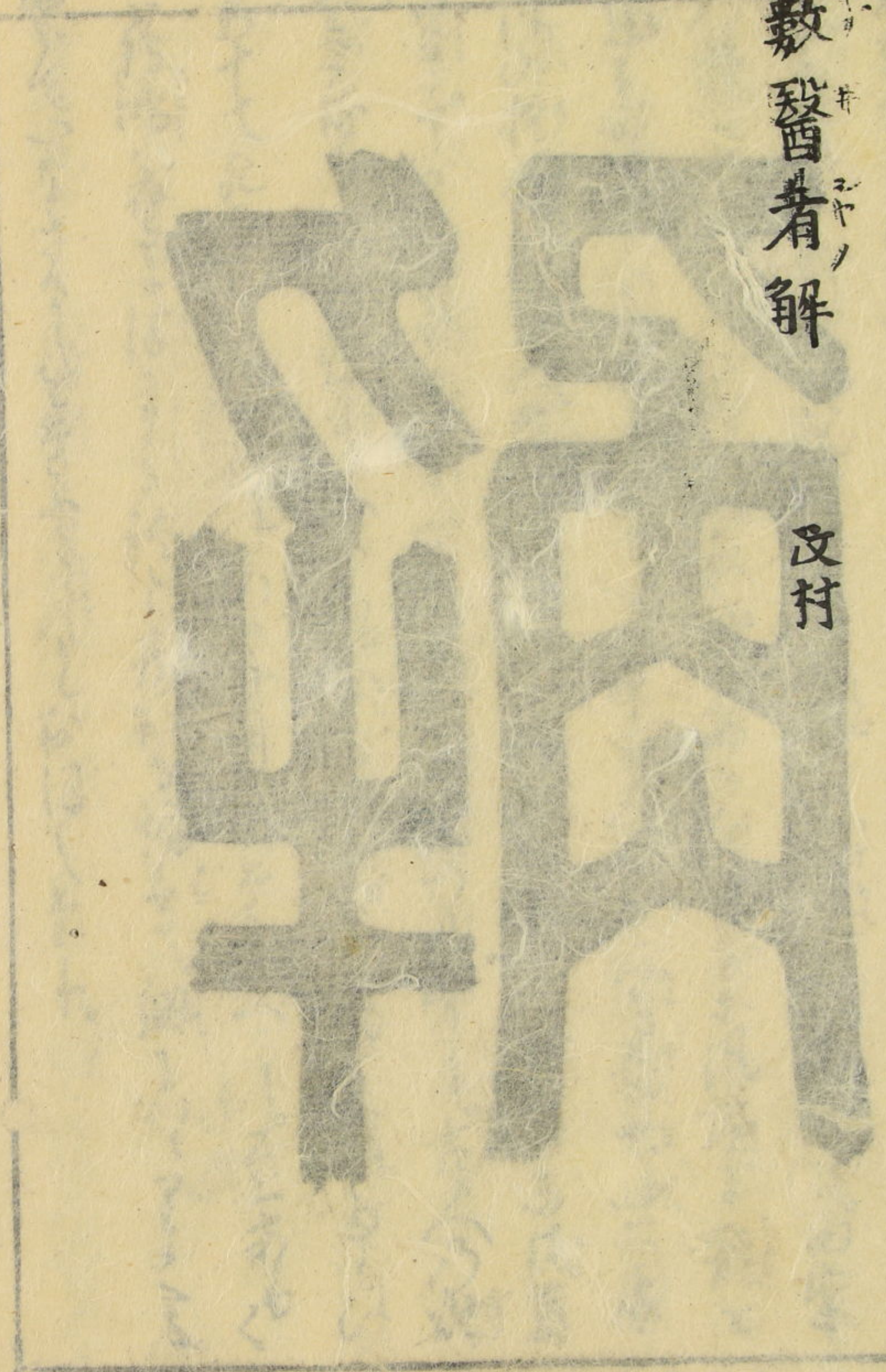
獲麟解

許六 長雪隱解

許六

穀醫者解

及村



○解類

五老并許六選

獲麟解

許六

○魯乃哀公十四年。西へ、拙よ麟とほきり。孔子大きに
カげきまひいて。春好ととむじ。史記麟はいつまの時にて。孔子
をえんまのふぞりといふ。鼠ハ愚くして大蛇のま
とすけて命をきり。麟ハ西靈乃隨うして。精ある
ををえり。うけくかきくも又いづ。孔子はけり
解はもうがぬ。や牛馬の生れそ。けつる。そやあや
まじ。これまたふ。麟も又いづ。麟も。道おこなつれ。さう
を。道々麟の上あり。聖人の上ふ。なふ。や

又ひつゝ藤ほろよきは。聖人も其こゝせよ例もやも
 あらや。あとい聖人うせのふ例ありとも。道はちやまけり
 成り。是とてむじまきくよもゆども。儒道きまゆりしと
 おりよそれハ。麒麟とすつゝよふとひつゝわらんとおどむ
 へさう。英たれもきば。教し教ま。機の書だまび子よ別きて
 占とて。書家ののそれハ。ぬく世つゝいふ。著あき毎よ
 教しもんた神也。極ち極ちたれきし。いふ。おとせふよても
 かり。さ神バ仁義乃占もあひぬありしもありぬべし
 藤とすつゝぬ聖人もありや。又聖人を好ぬ。藤嵐もあは
 や。じつゝ二のりふ。帯よもあは。孔子好む。せまき。利をなし。
 和も神代もすつゝぶ。南内巨ぶ。校とつゝさね。聖

おなりふ。藤嵐をすつゝ取ら法もなり。大わらけをちり
 勢ハ。財と勢也。藤也。く人ち。けと。風。時。旅。客
 乃。君。を。破。法。能。なり。かぬ。方の。を。人。い。し。く。目。初。こ。ら
 わづ。一。足。ぬ。夜。を。乃。も。も。祈。と。徹。也。死。が。あ。や。ま。わ。ら
 ち。り。か。ぬ。も。と。よ。と。さ。さ。ら。や。世。前。を。人。と。あ。ら。び。し。て。
 藤。嵐。の。の。と。目。と。つ。ま。て。来。乃。凡。史。の。不。目。初。ハ。か。の。一。言。
 あ。や。ま。わ。ら。く。を。人。に。た。り。し。か。り。な。る。べし。今。は。藤。を。解
 して。つ。つ。ふ。と。あ。り。ま。さ。る。春。庭。の。よ。き。湯。水。い。か。ん。か。せ。春
 の。乃。勢。向。と。見。こ。り。し。も。ら。ば。何。乃。麒麟。一。し。り。か。ん。か
 乃。あ。ら。じ。や。

けしよ回(かへ)るとはすくぬくも。さればを所(ところ)と云ふ。
 其業(わざ)と習(まな)ぶ草(くさ)。津(つ)くへ海(うみ)くへよるびる。やぶくさ
 只(ただ)ど。病家(びやうか)も信(まこと)と申(まを)す。茶(ち)力(ちから)も飛(と)び下(くだ)り。そ被(おほ)りり物(もの)
 換(か)り替(か)へり。今(いま)ハ長(なが)物(もの)も長(なが)衣(え)と成(な)る。あらまハ毒(どく)
 益(えき)と成(な)り。苗(な)付(つ)の毒(どく)をそつらふ。おせん門(かど)は。屋(や)抜(ぬ)の
 驚(おどろ)き物(もの)をばうす。竹(たけ)垣(がき)子(こ)は。毒(どく)は茶(ち)乃(の)着(き)枝(えだ)とけけ。
 又(また)子(こ)の伴(ばん)者(しや)も。中(なかつ)ハ元(もと)と。そと田(で)さりの茶(ち)れを頼(たの)みて。
 茶(ち)店(てん)よそ。あらし。世(よ)物(もの)中(なかつ)ハ。後(のち)差(さ)の由(よし)は。茶(ち)乃(の)着(き)房(ふ)の毒(どく)
 とつじ。所(ところ)後(のち)ハ。室(むろ)合(あ)を療(りやう)じ。茶(ち)代(だい)よ。うで。く。河(か)原(はら)
 子(こ)乃(の)膝(ひざ)。牛(うし)膝(ひざ)ハ。牛(うし)乃(の)膝(ひざ)を。尋(たづ)ね。鶴(つる)毛(げ)と。鶴(つる)の志(こころ)
 み。さ。さ。と。茶(ち)乃(の)着(き)も。か。ま。て。胃(い)の氣(き)よ。ら。え。氣(き)

毒(どく)へく。果(はた)は。何(なに)が。村(むら)乃(の)后(のち)場(ば)の由(よし)を。す。け。家(いへ)能(よ)
 の。れ。を。と。して。被(おほ)り。被(おほ)り。を。押(お)す。所(ところ)洗(せん)も。い。ま。う。と。試(し)す。と。さ。ら。ふ。
 こ。ら。の。毒(どく)を。先(ま)に。な。が。く。家(いへ)近(ちか)め。試(し)す。所(ところ)今(いま)も。
 所(ところ)沙(さ)後(のち)ち。り。めん。の。中(なかつ)ハ。毒(どく)の。中(なかつ)も。お。か。け。り。り。
 船(ふね)衣(え)未(ま)茶(ち)乃(の)着(き)の。毒(どく)の。掃(はら)い。も。ん。伴(ばん)者(しや)を。被(おほ)り。
 佛(ほとけ)法(ぽう)ハ。茶(ち)乃(の)着(き)毒(どく)の。氣(き)遣(つか)え。ん。い。ま。う。と。さ。ら。ふ。
 ち。り。毒(どく)醫(い)者(しや)乃(の)中(なかつ)ぶ。り。り。又(また)お。か。け。り。の。子(こ)も。毒(どく)
 け。し。よ。回(かへ)ると。は。さ。さ。と。云(い)ふ。

